

## スマートフォン充電中の発熱に気をつけて!



「スマートフォン充電端子の焼損や発熱など」の相談が、スマートフォンの普及に伴い全国の消費生活センターに急増しています。スマートフォンは、高性能・小型化により熱を持ちやすく、かつ薄型化・防水/防塵により熱が逃げにくくなっています。特に充電や同時に複数のアプリや機能を動かしている時、熱が発生しやすくなります。夏場は気温上昇により、特に注意が必要です。

### 【事例1】充電端子が溶けて焼け焦げた

夜間にスマートフォンを充電していたところ、焦げたにおいが付いて起きた。充電端子が溶けて焼け焦げ、布団も焦げていた。

### 【事例2】就寝中に本体に触れ低温やけどに

充電中のスマートフォンを枕元に置いていたら、上腕にひりひりとした痛みを感じて目が覚めた。いつの間にか本体を下にしていた。医師からは低温やけどだと言われた。

### 【消費者へのアドバイス】

※スマートフォンを充電する時は毎回充電端子の取り扱いに注意しましょう。異常を感じた場合は直ちに充電を中止しましょう。充電端子に異物の付着や、無理な力を加えるなど、端子内の接点に変形して破損する可能性があります。

※スマートフォンの充電中や起動中などによる高温を感じたら、低温やけどになる恐れもあるので、温度が下がるまで使用を控えましょう。

問合せ 松伏町消費生活センター(環境経済課内) ☎991-1854

## ➔ 人権それは愛♡

## 「電車の中でせきをゆずったら」

わたしはお友だちの家にあそびに行く時に、家ぞくで電車にのりました。それは幼稚園の時のことで、東京まで行ったのでおかつたです。

電車の中は、すごくこんでいました。電車の中でよこをふりむくと、にもつをもって大へんそうな八十さいくらいのおばあさんがいました。わたしはうんよくすわれましたが、おばあさんがかわいそうでした。

せきをゆずろうと思いましたが、人に声をかけるのがさいしょは、はずかしかったのでゆずってあげられませんでした。でも、ゆうきを出して、「いす、すわりますか。」と聞いたら、「いいのかい。」と、聞いてきました。「いいですよ。」と、わたしは言いました。

そのおばあさんはニコツとしながらすわっていました。おばあさんにせきをゆずったのでわたしはすわるせきがなくなりました。そのまま一時間くらい

立ったままでした。少しかれました。

でも、いいことが出来てうれしかったです。うれしい気持ちが心の中に広がり、あまりつかれをかんじませんでした。

わたしは、お母さんのところに行ってぼうにつかまりました。お母さんを見ると、お母さんはニコツとしていました。お母さんがなぜわらったのかは多分わたしがせきをゆずってあげたからだと思います。

わたしはこれからも電車の中でせきをゆずったり、けがをした子をたすけるなどやさしいことをしたいです。

人権作文集「こころ」より

問合せ 教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

### 町長コラム

## 心の安定を図ろう

～違った角度で物事を捉える～



鈴木 勝

広報5月号をご覧いただいた方から、どのように心の安定を図っているのか、という質問を受けた。まず、1つ目の答えとしては、「前向きな考え方」をすることである。例えば、万歩計をつけて毎日健康のために散歩している方が、たまたま道を間違えたとする。「今日はいつもと違った風景が見られた、歩数も余計にカウントできた」と考えるであろう。最近日本語でも「ポジティブに考える」と表現するが、本来の日本語では「前向き思考で生きること」と表現できるであろう。また、旅人が旅先で水筒の水が半分になったとき、「もう半分しかない」と考えるか、「まだ半分も残っている」と考えるか

は、今後の旅路に大きな影響を与えるものとする。前向きに考えよう。

2つ目は、「違った角度から物事を考えること」である。めったに電車が通らない踏切で、遮断機が下りた時、「今日はついていない」と考えがちである。しかし、車に子どもが乗って居れば、「ほら、電車が来るよ」と話しかけ、子どもが喜んだ姿を見てラッキーと受け取るであろう。

人間とは、本当に勝手な生き物である。

心の安定を図るためには、一つの現象を違った立場から捉えてみる必要があると考える。「のろま⇒慎重派」、「せっかち⇒すぐに行動を起こす人」、「ケチ⇒節約家」など一時期流行した本に書いてあった。これらのように、違った角度から物事を捉えることができると、心が安定するものである。